

城端町の歴史
と文化

資料編

題字

杉谷恵昭

デザイン

仁田和男

校正

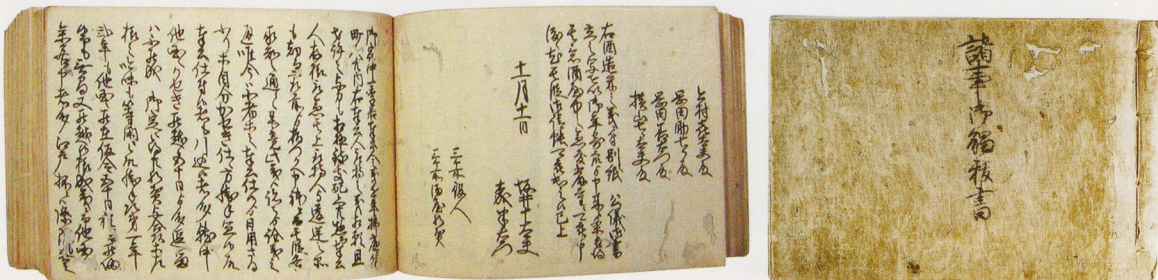
北村雅信



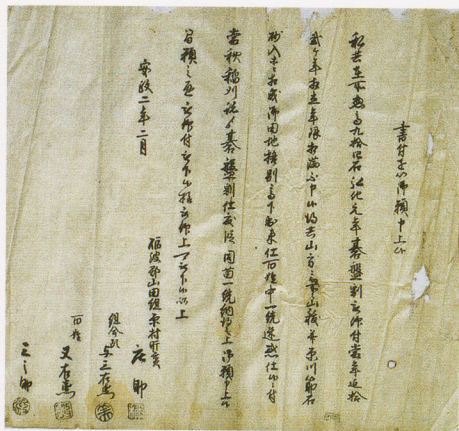
元禄6年「組中人々手前品々覚書帳」(全9冊 城端町蔵)



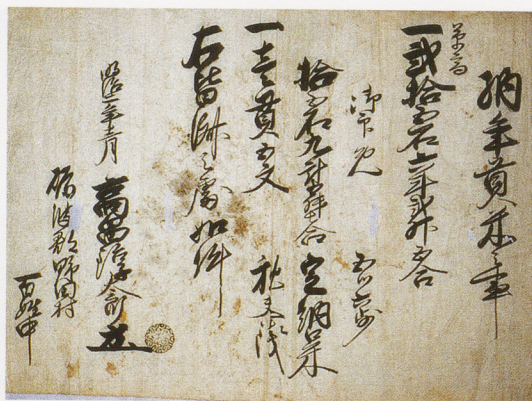
元禄6年「組中人々手前品々覚書帳」(東上町分 右は表紙、左は本文部分)



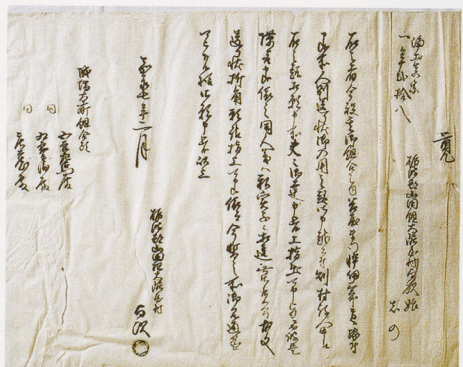
年月不詳『諸事御触抜書』(城端町蔵 右は表紙、左は本文)



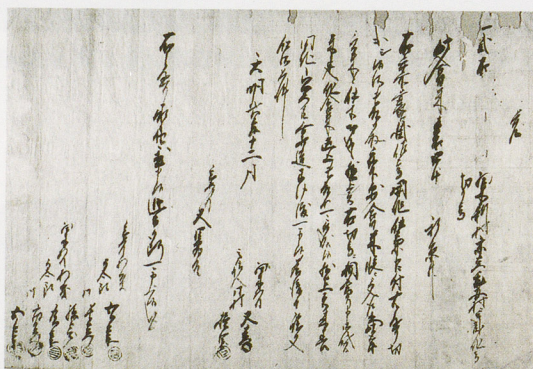
13 安政2年2月「原村山抜ならびに原川筋石砂入につき基盤割願書(後欠)」(上原区有文書)



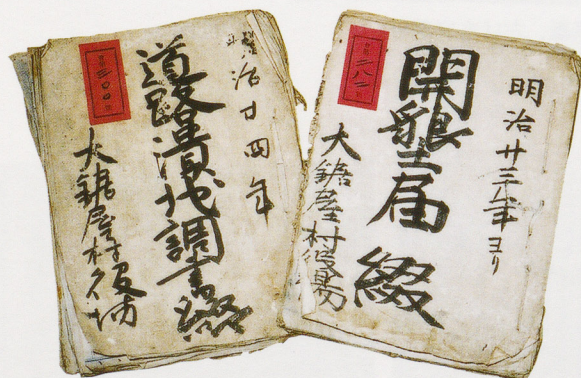
9 明治2年12月「年貢皆済状」(野田区有文書)



44 嘉永7年2月「大鋸屋村しの縁付につき送状」(大鋸屋区有文書)

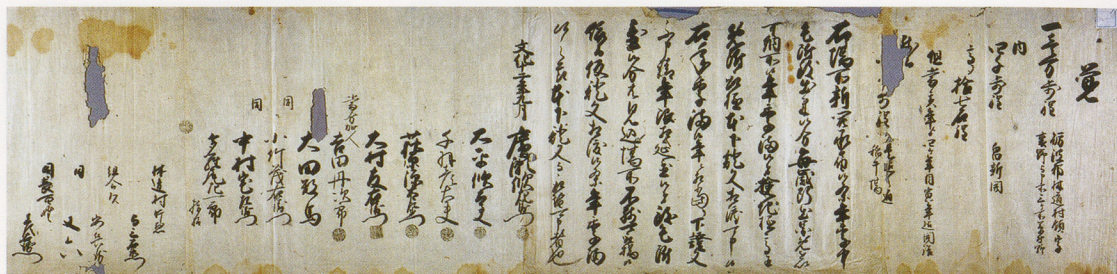


26 天明6年12月「細木新村亦右衛門掛作分切高証文」(細川文書)

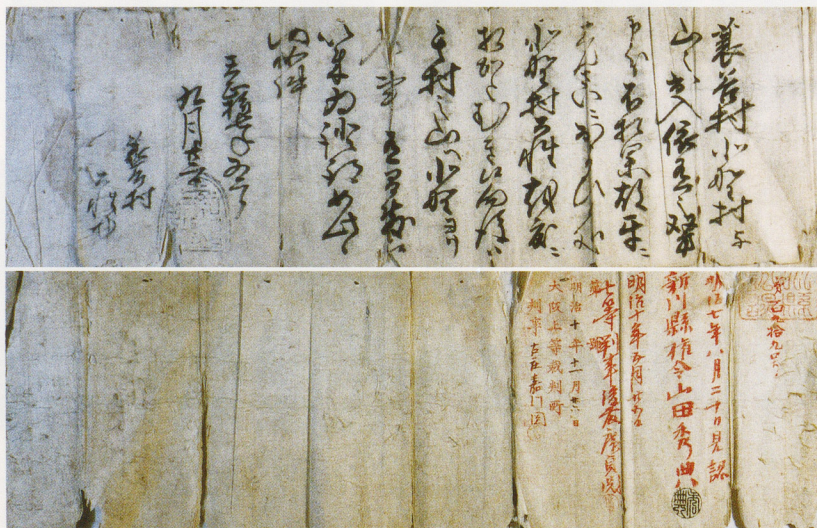


大鋸屋村役場文書表紙と保管状況





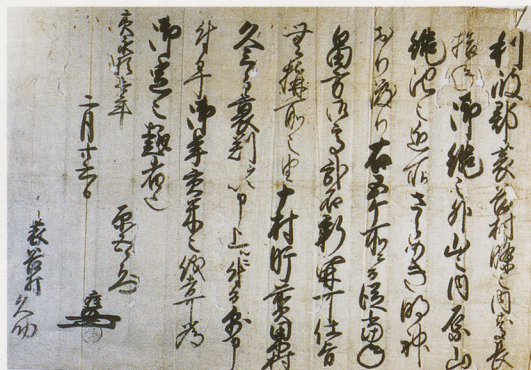
57 文化12年9月「林道村領裏野など畠新開申付書」(林道区有文書)



74 天正17年9月「蓑谷村・北野村、山出入につき北野村入山差止又二郎書状」
上段は表書、下段は裏書 明治期の裁判で使用され朱書あり(蓑谷区有文書)



85 元禄12年9月「細野村領畑新開申付状」
(細野区有文書)



75 寛永11年2月「蓑谷村領五ヶ所畠新開申付状」
(蓑谷区有文書)



90 明治12年 3月「西明村・細野村・北野村山争い関係文書」(西明区有文書)



96 天保4年 9月「袖鑑」(洲崎文書)



104 年月不詳「城端紺屋文左衛門子息五左衛門入門に付依頼状(西村太冲書簡)」(高樹会蔵)

例言

- 一、本巻は『城端町の歴史と文化』の資料編である。町内外に残る、町域に関する文書資料（史料）を中心に掲載した。
- 二、本巻の構成は、「一、組中人々手前品々覚書帳」「二、諸事御触拔書」「三、町内古文書」「四、町外文書」「五、収載史料と資料調査について」とし、三、四については、項目ごとに編年で史料を収録した。
- 三、史料には、史料番号とその史料本文の内容によつて史料表題を付した。史料表題は、史料本文の内容を示す形で付したが、一部は原本や既刊の所蔵目録に拠つたものもある。なお、冊子史料を抄録した場合は表題に（抄）を付した。また、町内区有文書以外の史料は出典・所蔵者・所在地などを記載した。
- 四、掲載にあつては原文の体裁に従うよう努めたが、原文の内容を損なわない程度で編集を加えたものもある。
 - ①史料の表記は原則として常用漢字を使用した。また人名・地名などの固有名詞の使用文字は一部を除き原本の字体を使用した場合もある。
 - ②付（附）・滝（瀧）・砺波（礪波）・壹（壹）・貳（貳）・事（「」）など、（ ）内の旧字体・異字体・俗字などはなるべく改め、統一をはかった。ただし、躰（体）、数字を表す壺・弍・参・拾・廿（二〇）・卅（三〇）などはそのまま残した。
 - ③変体仮名や異体字は現行の字体に改めた。ただし、ゐ・ゑ、助詞の江（え）・而（て）・与（と）・ニ（に）・之（の）・ハ（は）・者（は）・茂（も）はそのまま残した。
 - ④𠂔（トキ）・𠂔（トモ）などの合字は通常の仮名に改めたが、𠂔（より）・メ（しめて）・并（ならびに）のほか、𠂔（ばかり）などもそのまま残した。
 - ⑤虫損・破損・汚損・個人名を伏せた箇所は、その字数を推定して□や□□で示し、字数が不明な場合は□□□で示した。
 - ⑥原文に後筆・朱書・付箋などがある場合は、それぞれの該当部分を「」でくくり、（後筆）・（朱書）・（付箋）などと傍注した。
 - ⑦表敬の闕字は一字、平出は二字あけて示した。
 - ⑧掲載史料の一部を省略する場合は、（中略）・（後略）などと記載した。
 - ⑨署名下の花押、印章などは（花押）、（印）とした。また史料原本に花押や印、在判と書かれている場合は、（ ）を付さずそのまま記した。
 - ⑩史料中の表の掲載については、できるだけ原文を尊重するよう努めた。やむを得ず、その位置に収録できない場合は、元の位置に（表*）などの記号を付し、できるだけ近い頁に掲載した。
- 五、本文中には今日の視点からみると不適切と思われる表現もみられるが、歴史史料・学術史料としての性格に鑑み、原文のままとした部分もある。
- 六、口絵などに掲載史料を示す場合は番号のみ示した。
- 七、本編に關しての史料調査にあたり、ご協力いただいた各集落の方々、史料提供者、所蔵機関、関係区市町村の方々、さらには翻刻・編集などの作業にご協力いただいた方々に深く感謝申し上げます。

城端町の歴史と文化 資料編 目次

口絵

例言

目次

一、組中人々手前品々覚書帳..... 5

1. 出丸町 5

2. 東下町 21

3. 西下町 46

4. 西新田町 81

5. 西上町 116

6. 東上町 147

7. 大工町 173

8. 東新田町 199

9. 新町・野下町 231

二、諸事御触拔書..... 245

三、町内古文書..... 307

1. 是安区有文書 307

1 元禄二年（一六九九）九月 是安村領新開につき申付状

2 明治五年（一八七二）五月 小矢部川山田川等水源村々用水江高堤

防間尺諸郡棧橋書上げ控

2. 是安地区関係文書（岩滝正夫所有） 317

3 天保九年（一八三八）四月 御上使御通行につき村々領案内人請答の

趣覚帳

3. 野田区有文書 321

4 嘉永七年（一八五四）八月 池川ならびに山田川筋城端町人不都合に

つき野田村川除普請願書

5 安政三年（一八五六）二月 野田村組合頭退職につき願書

6 慶応元年（一八六五）五月 山田川掛水江郷、水割争につき申上帳

7 明治元年（一八六八）十一月 野田新村御蔵入年貢皆済状

8 明治二年（一八六九）十二月 野田村収納米不足につき紺屋文左衛門

宛借用証文

9 明治二年（一八六九）十二月 野田村年貢皆済状

10 明治四年（一八七二）十二月 野田村御蔵入新開定納口米請取状

11 明治四年（一八七二）十二月 野田村城端御借蔵入米請取状

4. 上原区有文書 323

12 天保四年（一八三三）二月 原村原川縁川崩石砂入につき基盤割願書

13 安政二年（一八五五）二月 原村山抜ならびに原川筋石砂入につき基

盤割願書

14 安政二年（一八五五）七月 原村基盤割定書

15 年月不詳 原村肝煎申付書

5. 細木地区関係文書（細川文書） 326

16 享保五年（一七二〇）一月 赤坂新村手上高などにつき基盤割願書

17 享保五年（一七二〇）一月 赤坂新村基盤割願書

18 寛保三年（一七四三）二月 細木新村切高につき基盤割願書

19 宝暦九年（一七五九） 赤坂新村手上高などにつき基盤割願書

20 安永五年（一七七六） 細木新村基盤割定書

21 安永九年（一七八〇）五月 赤坂新村寄肝煎交代願書

22 天明元年（一七八一）十二月 梅井新村長次郎懸作分皆切高証文

23 天明四年（一七八四）九月 原川用水井肝煎願書

24 天明四年（一七八四）十二月 大塚新村懸作彦市年貢米不足借用証文

25 天明五年（一七八五）一〇月 細木新村御蔵入年貢皆済状

26 天明六年（一七八六）十二月 細木新村亦右衛門掛作分切高証文

27 天明六年（一七八六）十二月 細木新村彦市掛作分切高証文

28 寛政二年（一七九〇）三月 大塚新村八郎兵衛分切高証文
29 寛政三年（一七九二）一月 細木新村碁盤割定書

30 寛政三年（一七九二）二月 細木新村切高につき碁盤割願書

31 寛政三年（一七九二）三月 大塚新村八郎兵衛分切高証文

32 寛政三年（一七九二）二月 大塚新村徳左衛門分切高証文

33 寛政四年（一七九二）二月 細木新村御蔵入年貢皆済状

34 寛政七年（一七九五）二月 細木新村喜三郎分切高証文

35 寛政八年（一七九六）二月 細木新村喜三郎分切高証文

36 文化六年（一八〇九）二月 細木新村清左衛門分切高証文

37 文化七年（一八一〇）二月 細木新村又右衛門分切高証文

38 文化一〇年（一八一三）二月 細木新村宗次郎分切高証文

39 文化一〇年（一八一三）二月 細木新村彦市分切高証文

40 文化一二年（一八一六）三月 大塚新村清左衛門分切高証文

41 文政五年（一八二二）二月 細木新村又右衛門分切高証文

42 年不詳子三月 細木新村組合頭役申付け書

6・中尾関係文書（齊藤耕三所有）³³⁵

43 寛政三年（一七九二）一月 中尾村村中男女残らず書上帳

7・大鋸屋区有文書³³⁸

44 嘉永七年（一八五四）二月 大鋸屋村しの縁付につき送状

45 元治二年（一八六四）一月 樋瀬戸村伊三郎縁付につき送状

46 慶応二年（一八六六）一月 蓑谷村ひる縁付につき送状

47 慶応二年（一八六六）一月 原村いの縁付につき送状

48 慶応二年（一八六六）一月 城端新町りて縁付につき送状

49 慶応三年（一八六七）一月 中尾村いと縁付につき送状

50 明治二年（一八八九） 明治二二年大鋸屋村事務報告書

51 年月不詳 条例及び規定（大鋸屋村役場文書）

8・林道区有文書³⁴²

52 寛永四年（一六二七）三月 山争につき林道村申上状写

53 慶安四年（一六五二）

林道村・理休村打尾谷山割につき証文／林道村・理休村林山より大つふりへ懸けてなど重ねて山割証文

54 慶安四年（一六五二）八月 林道村・利久村火谷割四方詰につき山割証文

証文

55 元禄年代 林道村領畠新開申付状

56 寛延四年（一七五二）四月 林道村耕作御縮方に付百姓慎御書立請帳

57 文化一二年（一八一五）九月 林道村領裏野など畠新開申付書

58 文政一〇年（一八二七）三月 林道村山界書物写

59 安政二年（一八五五）二月 理休村・新泉沢村領年貢皆済状

60 安政五年（一八五八）七月 林道村・梨谷村作物刈取につき詮議願状

61 安政六年（一八五九）二月 小矢部村など切高取上返し方につき嘆願書

書

62 安政六年（一八五九）九月 原山なぎ畑につき林道村申上書

63 万延元年（一八六〇）一月 林道村年貢皆済状

64 万延元年（一八六〇）一月 林道村給人年貢皆済状

65 万延元年（一八六〇）一月 林道村御蔵入年貢皆済状

66 万延元年（一八六〇）一月 納年貢米之事

67 万延元年（一八六〇） 万延元年分林道村年貢割付帳

68 文久三年（一八六三）一月 林道村文久三年分納年貢皆済状

69 元治元年（一八六四）一月 林道村御蔵入年貢皆済状

70 慶応三年（一八六七）一月 林道村給人年貢皆済状

71 年月不詳 寛永四年（一六二七）理休村ほか山境につき山分控写帳／両村へ相渡絵図面裏書

72 年月不詳 明暦二年（一七六五）林道村・蓑谷村山境証文写帳

73 年不詳壬申八月 五箇山村々雪持林伐採差止につき林道村願状

9・蓑谷区有文書³⁵⁸

74 天正一七年（一五八九）九月 蓑谷村・北野村、山出入につき北野村

入山差止又二郎書状

- 75 寛永一一年（一六三四）二月 蓑谷村領五ヶ所畠新開申付状
76 寛文六年（一六六六）八月 蓑谷村畑来栖村忠右衛門ほか請作につき

覚書

- 77 寛文六年（一六六六）八月 蓑谷村畑見座村二郎兵衛請作につき覚書
78 寛文六年（一六六六）八月 蓑谷村畑相倉村茂右衛門請作につき覚書
79 寛文六年（一六六六）八月 蓑谷村畑下梨村久七ほか請作につき覚書
80 寛文九年（一六六九）六月 蓑谷村の細野山境出入につき納得定書
81 寛文一〇年（一六七〇）九月 越中砺波郡蓑谷村物成の事（村御印）
82 享保五年（一七二〇）三月 蓑谷村惣高廻検地につき絵図調べ申上書
83 天保九年（一八三八）一〇月 蓑谷村草高覚
84 慶応四年（一八六八）五月 蓑谷村田地割につき惣歩合盛書上帳

10・細野区有文書³⁶⁴

- 85 元禄一二年（一六九九）九月 細野村領畑新開申付状
86 文久二年（一八六二）一二月 細野村地割につき惣歩合盛書上申帳
87 明治一七年（一八八四）一二月 入会山繁殖保護申し合わせ規約

11・西明区有文書³⁶⁷

- 88 天保一一年（一八四〇）六月 西明村検地につき引免申渡書
89 安政三年（一八五六）七月 西明村碁盤割定書
90 明治一二年（一八七九）三月 西明村・細野村・北野村山争い関係文書

- 91 大正元年（一九一二） 西明村青年会記録

- 92 年月不詳 賭博取締規約

12・東西原区有文書³⁷²

- 93 明治三三年（一九〇〇）八月 第二〇番衛生組合規約

13・北野地区関係文書（『ふるさと北野』掲載文書）³⁷⁴

- 94 元和五年（一六一九）八月 細野村との山出入につき二郎丸村願書
95 元和六年（一六二〇）九月 細野村との山出入につき吉松村願書

14・城端町関係文書（洲崎文書）³⁷⁵

- 96 天保四年（一八三三）九月 「袖鑑」
97 年月不詳 荒木旧記（抄・宝暦城端騒動）
98 年月不詳 荒木旧記（抄・曳山車騒動）

15・城端地区関係文書（城端町所有文書）³⁹⁵

- 99 天保九年（一八三八）閏四月 御上使様につき諸色覚書
100 年月不詳 微妙院様御印留帳
101 年月不詳 真調記

四、町外文書

1・杉野家文書（福岡町歴史民俗資料館蔵）⁴⁰⁷

- 102 寛永八年（一六三一）一二月 利波郡西原村新開御検地打渡状（写）

2・杉野家文書（富山市郷土博物館蔵）⁴⁰⁷

- 103 文久二年（一八六二）一月 東西原村文久元年分算用帳書上申帳

3・高樹文庫（高樹会）⁴⁰⁸

- 104 年月不詳 城端紺屋文左衛門子息五左衛門入門に付依頼状（西村太冲書簡）

4・石川県立図書館蔵文書⁴⁰⁸

- 105 文化三年（一八〇六）四月 触下寺庵由来書帳

5・町域関係近代刊行物⁴¹⁰

- 106 明治四三年（一九一〇）刊 富山県農会『東砺波郡蓑谷村農是調査書』（氷見市立図書館蔵）

- 107 昭和三年（一九二八）刊 『富山県郡会議員宝鑑（抄）』（氷見市史編さん室蔵）

五、収載史料と資料調査について

1・収載史料の概要⁴⁶⁰

2・調査概要⁴⁶¹

3・区有文書と役場文書⁴⁶³